

患者さんパンフレット

四国がんセンター
消化器内科



内視鏡的大腸粘膜切除術・ ポリペクトミーを受けられる

_____さま

独立行政法人国立病院機構
四国がんセンター

_____病棟

担当医

受け持ち看護師

2023年2月22日 作成

私たち医療スタッフは

- 1 入院や治療に対する不安を軽減し、最良の状態で治療が受けられるようにお手伝いいたします
- 2 治療後の苦痛を軽減し、合併症を起こさず順調に回復され安心して退院を迎えられるようお手伝いいたします



ダイアリー

このパンフレットには、当院での標準的な治療や日常生活で注意していただきたいポイントなどを記載しています

また、日々の目標として患者さんご自身の目標をかかげ、さらによりよい状態で退院を迎えられるよう医療スタッフの目標もあげています

入院は約3日間の予定です

治療後の回復は、個人差があり、体の状態によっては予定どおりにすすまないこともあります。その都度対応していきますので、ご安心ください

私たち医療スタッフは、これからの入院生活が不安なく送られるようにサポートさせていただきます



入院日（入院～治療前日）

月 日 ～ 月 日



今日の目標

- 入院、治療について医療スタッフの説明が理解できる
- 治療の準備をすすめることができる

<時間>

<予定>

	入院	【入院後に以下のことを予定しています】
		• 看護師から病院内、病棟内、入院生活の説明（テレビの病院案内も参考にしてください）
12:00	昼食	• 血圧測定、身体測定
		• 連絡先、既往歴、生活習慣などの聞き取り
		• 禁煙の確認
		• 治療の予定説明
14:00	検温	• 同意書の確認
		• シャワー浴をしましょう
		<お薬>
		• 他の病院で処方されたお薬については、一度お預かりし医師の指示を確認後、続けるか、中止するかをお伝えします
		• 21時に下剤を服用します
18:00	夕食	• 薬剤師から治療後に内服する薬について説明があります
		<食事>
21:30	消灯	• 低残渣食（消化の良い食事）を提供します
		• 治療前日の 21時以降は食べることはできません
		コップ1～2杯までの水分摂取は可能です

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- 安心して入院生活を送られるよう支援します
- 治療への不安が軽減できるよう支援します



治療当日（治療前）

月

日



今日の日標

- ・ 予定どおりに治療を受けることができる
- ・ 下血がない

<時間>

<予定>

6:00

起床、洗面、歯磨き
検温、血圧測定

お薬以外は、引き続き飲んだり食べたりできません

7:00

腸の中をきれいにするために下剤を飲みます

下剤のほかに指示された内服薬がある方は少量の水で服用してください
【薬剤名： _____】

10:00

検温、血圧測定
右腕から点滴を始めます

検査は午後からです
腸の状態を整えて準備しましょう

14:00

検温、血圧測定

治療開始
5分前～

安全に治療を行うために、以下のものはすべて外して準備してください
準備ができたなら、歩いて内視鏡室へ行きます

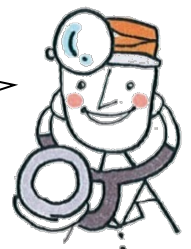
	<input type="checkbox"/> 入れ歯		<input type="checkbox"/> 腕時計
	<input type="checkbox"/> コンタクトレンズ		<input type="checkbox"/> イヤリング・ピアス
	<input type="checkbox"/> 磁気製品・湿布		<input type="checkbox"/> ネックレス
	<input type="checkbox"/> かつら・ウィッグ		<input type="checkbox"/> 指輪
	<input type="checkbox"/> お化粧		<input type="checkbox"/> ブレスレット
	<input type="checkbox"/> つけまつげ		<input type="checkbox"/> ヘアピン
	<input type="checkbox"/> マニキュア		<input type="checkbox"/>

治療開始時刻
(:)

治療が始まります

医療スタッフの目標

- ・ 予定どおりに治療が受けられるように支援します



大腸内視鏡検査を受けられる方へ

腸管洗浄剤 ニフレック®の飲み方



監修：工藤進英（昭和大学横浜市北部病院 副院長・消化器センター教授）

飲む前

- お通じ・体調を、医師または看護師にお伝えください。

飲み方

- コップ1杯を、10分から15分くらいかけ、ゆっくり飲んでください。

通常、2リットルのニフレックを1時間あたり1リットルの速さで飲みます。

- 飲み始めから約1リットル服用後（1時間後）に、多くの場合、はじめの排便があります。

歩くなど体を軽く動かすことで、排便がおこりやすくなります。

便秘気味で1リットル飲んでも排便がない方は、一旦飲むのを中断し、医師または看護師にご相談ください。

おかしいな

服用中および服用後、「おかしいな」と思ったら、すぐに医師・看護師にお伝えください。



- 「おかしいな」の症状
 - 気分が悪い
 - 吐き気がする
 - 吐いた
 - お腹が痛い
 - 顔が青ざめる
 - めまいがする
 - 寒気がする
 - じんましんが出る
 - 息苦しい
 - 顔がむくむ など

服用終了の目安

“カス”がなくなり“無色”か“うす黄色”の水様便が目安です。



大腸検査を受ける方に

大腸検査ができる便の状態を チェックしましょう

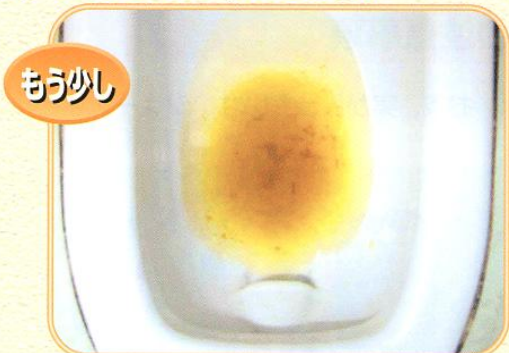


大腸検査を受けるには、検査前日か検査当日に大腸をきれいにするお薬を飲んでいただきます。正確な診断を得るためには、検査前の準備として便の状態をきちんとチェックすることが大切です。

● これでは大腸検査が実施できません。



● もう少しがんばりましょう。



色が濃く、にごっています。

粒が残っています。

● これで前処置は完了です。



粒がなく、黄色透明です。

ほとんど無色透明です。

便の状態はこのように変わっていきます。よく見ましょう。

監修：大腸肛門病センター高野病院 副院長 野崎 良一 指導：大腸肛門病センター高野病院 内視鏡技師 松平 美貴子

治療当日（治療後）

月 日



今日の目標

- 痛みがあれば、医療スタッフへ知らせることができる
- 吐き気や腹痛がない
- 下血がない

<時間>

<予定>

治療終了後

車椅子で病室へ戻ります
検温、血圧測定

- 活動に制限はありません
治療後、初めてトイレに行くときは看護師と一緒に行きましょう
- 痛みが強いときや気分が悪いときは、すぐに医療スタッフへお知らせください
- 治療後は止血剤の入った点滴を1本行います
終了後、針を抜きます
- 食事は夕食から再開です
低残渣食（消化の良い食事）を提供します
水分摂取可能な時間は、看護師よりお伝えします
- 退院後の日常生活について、看護師から説明があります

18:00

夕食（低残渣食）

19:00

検温、血圧測定

21:30

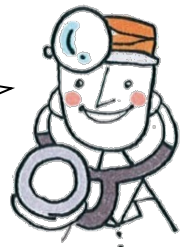
消灯

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- 合併症の早期発見に努めます
- 退院後の日常生活に不安がないよう支援します



退院日 月 日



今日の目標
・退院できる

<時間>

<予定>

6:00

起床、検温

7:30

朝食（低残渣食）

「入院診療費料金連絡票」をお部屋までお持ちします
2階窓口でお支払い終了後、病棟まで連絡票をお持ちください
次回外来予約票をお渡しします

10:00

退院
退院前にお忘れ物がないようご確認ください

次回外来受診日は

月 日（ ）時の予定です

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標
・退院後の日常生活に不安がないよう支援します



退院後の日常生活について

ポリープや腫瘍を取った後の粘膜には、人工的な潰瘍ができています
自然に治っていきませんが、退院後間もない頃は、まだ、やけどの傷が大きく、
ごくまれに潰瘍から出血することがありますので、以下のことに気をつけて生活
しましょう

●食事

- 1週間ほどは腸に負担がかからないよう、消化のよいものを取りましょう

例) 牛乳、卵、鶏肉（ささみ）、白身魚、豆腐、いも類、
野菜（にんじん、かぼちゃ、ほうれん草）など



- 辛いもの、ニンニクなどの刺激物はさけましょう
コーヒーなどは飲んでも問題ありません
- 飲酒は、潰瘍の治りを遅くします
また、血行がよくなり出血しやすくなります
必ず7日は、禁酒しましょう

●排便

- 排便時はいきまないようにしましょう
- 便秘になると排便時に腹圧がかかります
水分摂取を心がける、毎日同じ時間にトイレに座るなどして便秘の予防に努めましょう
- 退院後もしばらくは便を観察してください

●活動

- どんな運動も、少なからずお腹に力が入ります
7日ほど避けてください
- 散歩など軽めの運動から始めましょう
- 車の運転は、基本的には支障ありません
しかし、長時間の運転は避けるほうが望ましいでしょう
- 治療後、1週間から10日程度は遠出は避けましょう

●入浴

- 長く湯に浸っていると、血行がよくなり出血しやすくなります
温泉などは、次回外来までは控えてください



【入浴時期の目安】

治療翌日 シャワー浴
治療2日目～ ぬるめのお湯で短時間の入浴
治療1週間後～ 治療前と同じように入浴して構いません

●喫煙

- 喫煙は外来受診時、医師に相談してください



●仕事

- 力仕事でなければ、支障ありません
重いもの（約5kg以上）を持つ重労働の場合には、お腹に力が入ります
それがきっかけで潰瘍から出血することも、大変まれですがあります
力仕事は、次回外来まで避けたほうがよいでしょう
- これから先、安心して働き続けるためには、体の状態に合わせた休み方や働き方が
必要になることもあります
病院では、患者さんの「働きたい！」をサポートしています
私たちと一緒に考えていきましょう



ちりょうさ
厚生労働省『治療と仕事の両立支援』キャラクター

【相談窓口】

がん相談支援センター相談員

- 医療ソーシャルワーカー、看護師

<出張相談>

- ハローワーク松山就職支援ナビゲーター
- 両立支援促進員（社会保険労務士）

ご相談は、がん相談支援センターへお問い合わせください

●お薬

- お薬の処方がある方は、医師の指示どおりに服用してください
- 他の病院のお薬を服用する場合は、医師に相談してください



MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう



- 自分が見てわかるほどの出血があったとき
- 激しい腹痛、吐き気、嘔吐があるとき
- 38.0℃を超える発熱があるとき

上記のような症状がある場合やその他ご心配なことがある場合は、
がん相談支援センターにご連絡ください

◆四国がんセンターの連絡先◆

【平日】 8：30～17：15
四国がんセンター がん相談支援センター
(直通番号) 089-999-1114

【平日上記時間外および土、日、祝日】
日直/夜間当直師長
(代表番号) 089-999-1111

* 外来受診日や検査予約日の変更については、
予約センターにご連絡ください

【平日】 8：30～17：15
(直通番号) 089-999-1112

